



令和2年度 第3回 大館市木材利用推進会議

説明資料

令和3年2月10日（水）
本庁 3階 第1委員会室

内 容	7 月	8 月	9 月
木材利用推進会議		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> ○第1回目会議の協議事項の設定 ○木材利用推進会議委員・体制案の作成 </div>	<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【9月25日】 ○第1回木材利用推進会議の開催 </div>
木材利用促進計画		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【8月下旬～9月下旬】 ○木材利用促進計画の策定に必要な情報収集（庁内・庁外） </div>	
部会等			<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【9月中】 部会委員の選定 </div>
事務局 アドバイザー		<div style="background-color: #00a651; color: white; padding: 5px;"> 【8月中旬】 ○木材利用推進会議アドバイザーへの相談・説明 </div>	

緑色着色：実施済み項目

内 容	1 0 月	1 1 月	1 2 月
木材利用推進会議		【11月19日】 ○第2回木材利用推進 会議の開催 ⇒木材利用促進計画 素案の協議	
木材利用促進計画	【10月中】 ○計画素案の作成		【12月中】 ○12月議会 ⇒計画案の報告
部会等		【11月6日】 ○第1回部会の開催 ⇒計画素案の説明	
事務局 アドバイザー		【11月上旬】 ○計画素案の説明 ○第2回会議の事前説明	

緑色着色：実施済み項目

内 容	1 月	2 月	3 月
木材利用推進会議		<div style="background-color: #0072bc; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 【2月10日】 ○第3回木材利用推進 会議の開催 ⇒計画最終案の説明 </div>	
木材利用促進計画	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 【1月中】 ○計画案意見聴取 </div>		<div style="background-color: #0072bc; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 【3月中】 ○3月議会報告 ○計画策定、公表 </div>
部会等	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 【1月25日】 ○第2回部会 ⇒計画案に関する 意見交換 </div>		
事務局 アドバイザー	<div style="background-color: #00b050; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 【1月下旬】 ○計画案の説明 ○第3回会議の事前説明 </div>		

緑色着色：実施済み項目

< 開催結果の概要 >
 ○大館市木材利用推進会議の運営状況及び大館市木材利用促進計画案に関する各課からの意見のとりまとめ結果を報告。
 ○計画案のポイントと策定までのスケジュールについて説明を行った。
 ○推進会議委員より推進会議での意見聴取体制についての意見や市の総合計画等との整合性について調整するよう意見があった。
 ○アドバイザーより市民に読んでもらうための工夫が必要との意見があったほか、都市部での木材利用に関する情報提供があった。

< 推進会議次第・要旨 >

- 1 開会 委員長あいさつ**
委員長 大館市産業部長 日景 浩樹
 ・事務局及び部会で検討を加えてきた木材利用促進計画は今後の市の羅針盤になるものと捉えており、各委員の視点から意見をいただき、計画の磨き上げをしていきたい。
- 2 取り組み状況報告**
事務局 産業部林政課・建設部都市計画課
 ・第1回部会開催結果、各課の意見のとりまとめ結果等を報告。
- 3 計画案説明（木材利用促進計画、スケジュール）**
事務局 産業部林政課・建設部都市計画課
 ・計画案のポイント、策定までのスケジュールについて説明。
- 4 意見交換**
各推進会議委員
 ・公共建築物を整備する場合、「推進会議の意見を伺う」とあるが、推進会議の場で木材利用の方向性について意見を聞いても、様々な理由で方向性が変わる可能性がある。
 ・計画に記載されている施設について、所管課における議会への報告や公表のタイミングについて調整をとっていただきたい。
 ・市総合計画やその他の計画とリンクしなければならないので情報の整理が必要。
 ・計画について市民の方にも読んでいただけるように図や絵をとりいれることを検討してほしい。
 ・「森林を活かす都市の木造化推進協議会」で木造・木質化を進める動きがある。これに先んじて木材利用を進めてほしい。
- 5 閉会**

< 推進会議開催状況 >

委員長あいさつ



事務局説明



アドバイザー 高田所長



意見交換



日時：令和2年11月19日（金）16時～17時
会場：大館市役所 本庁1階 第2会議室
出席者：委員長・副委員長・委員4名、アドバイザー1名、事務局5名

<開催結果の概要>

- 大館市木材利用推進会議の運営状況及び木材利用事例について事務局より報告を行った。
- 計画案に関するアンケート結果概要と分析結果について事務局より説明を行った。
- 部会委員より各施策についての取組みの方向性や手法について検討が必要との意見があった。
- 足立准教授より国道7号線における木材利用事例（能代市、転落防止柵）の紹介と、国との情報交換について提案があった。

< 部 会 次 第 ・ 要 旨 >

1 開会 部会長あいさつ

部会長 大館市産業部林政課長補佐 小棚木 信晴

- ・ 昨年の12月定例会・教育産業常任委員会にて計画案について説明を行い、年明けに林業木材産業関係者や建築事業者等に対し意見聴取アンケートを実施した。
- ・ 計画案の確定に向け、部会委員の意見を伺いたい。

2 報告（取組状況、木材利用事例など）

事務局 産業部林政課・建設部都市計画課

- ・ 木材利用推進会議の運営状況、木材利用事例について報告。

3 計画案に関するアンケート結果

事務局 産業部林政課・建設部都市計画課

- ・ 計画案に関するアンケート結果について報告。

4 木材利用促進計画案に関する意見交換

各部会委員

- ・ 木育について、木のおもちゃだけでなく、森林・林業について伝える工夫が必要ではないか。
- ・ 木質資源の多角的利用推進について、木質バイオマスだけでなく幅広く取組む必要があるのではないか。

5 講評

秋田県立大学木材高度加工研究所 准教授 足立 幸司 氏

- ・ 多角的から多面的利用という表現の方が良いのでは。マテリアルからエネルギーまで、捉え方の工夫が必要。
- ・ 国道7号線は風景街道として整備されており、能代市では木製の転落防止柵を設置している。国と情報交換をしてはどうか。

6 閉会

< 部 会 開 催 状 況 >

小棚木部会長挨拶



足立准教授



部会委員



意見交換



日 時：令和3年1月25日（月）14時半～16時半
 会 場：大館市役所 本庁 3階 第1委員会室
 出席者：部会長・部会委員10名、外部有識者1名、事務局3名

大館市木材利用促進計画案に関する意見聴取アンケート結果①

<対象者>

- 林業・木材産業関係者
(森林整備・苗木生産・木材加工・木材流通・木質バイオマス)
- 建築事業関係者(建築・設計)
- 木育関係者(一般市民・保育士)

<送付数・回答数>

送付数 175名
回答数 119名(回答率68%)

<調査期間>

令和3年1月7日～22日

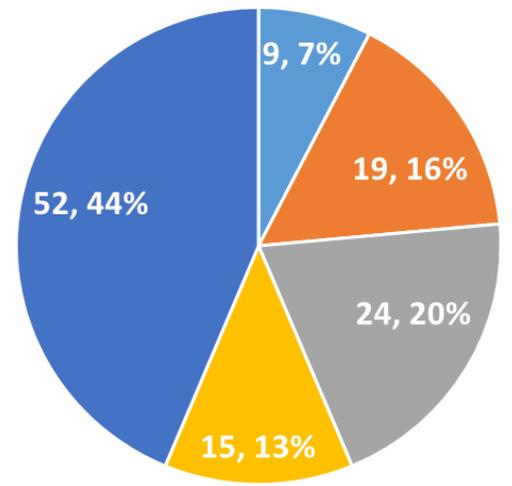
<アンケート内容>

- 1、木材の利用の促進に関する市の施策に対する“満足度”と“重要度”
- 2、計画全体(内容や施策の到達点・目標など)に対する意見

満足度・重要度ランキング(全体)

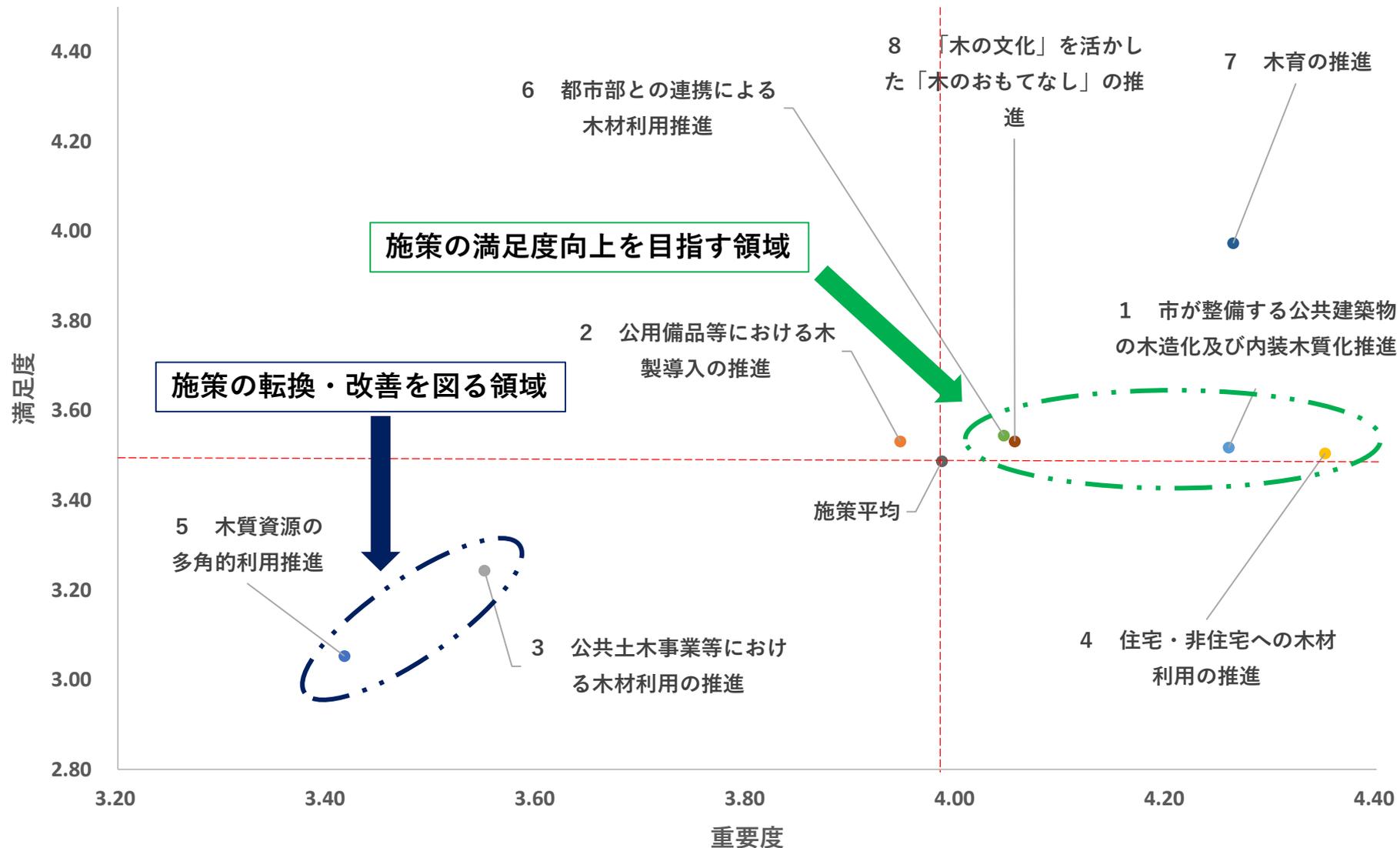
施策項目	満足度	重要度	満足度 順位	重要度 順位
1 市が整備する公共建築物の木造化及び内装木質化推進	3.52	4.26	5	2
2 公用備品等における木製導入の推進	3.53	3.95	3	6
3 公共土木事業等における木材利用の推進	3.24	3.55	7	7
4 住宅・非住宅への木材利用の推進	3.50	4.35	6	1
5 木質資源の多角的利用推進	3.05	3.42	8	8
6 都市部との連携による木材利用推進	3.54	4.04	2	5
7 木育の推進	3.97	4.26	1	2
8 「木の文化」を活かした「木のおもてなし」の推進	3.53	4.06	3	4
施策平均	3.49	3.99	-	-

回答者構成グラフ



- 森林整備・苗木生産
- 木材加工・流通・バイオマス
- 建築
- 設計
- 木育・その他

施策ポジション (全体)



大館市木材利用促進計画案に関する意見聴取アンケート結果③

2、計画全体（内容や施策の到達点・目標など）に対する意見要旨（抜粋）

< 民間事業者（林業・木材産業関係事業者、建築設計関係事業者） >

○森林整備関係者

- ・木材（原木）の生産者としての期待の高さが読み取れる。公共施設での確実な地産地消を求める声も。

○木材加工関係者

- ・原材料確保の厳しさを訴える声や現状の森林整備のあり方について改善（育林方法、森林認証取得など）を求める声がある。

○建築関係者

- ・地元産材の利用について賛同する一方で、木材調達の厳しさから現状の打開を求めている。
- ・森林資源のサイクル（植栽～収穫）に関する記述を充実させるべきとの意見も（“使う”に特化している）。

○設計関係者

- ・設計関係者との連携に関する提案やサポート側として協力する旨のコメントなど具体の提案が多かった。
- ・木材関係者と建築関係者による意見交換・情報交換の仕組み作りが必要との声あり。

< 一般市民・保育士（木育関係者） >

- ・全体的に計画に対する期待度の高さが伺えた。特に木育に関する言及が多い。
- ・計画案を読んで施策を初めて知った、とのコメントがあり、アンケートの問合せ時も同様の言及があった。

以上

都市部への木材供給～渋谷区児童福祉施設～

神南分庁舎跡地複合施設（仮称）

＜鉄骨造8階建て／延床面積約4,500m²＞

渋谷区木材利用推進方針（R2.4～）

＜使用する木材＞

- ア 防災協定締結自治体の木材
- イ 東日本大震災被災自治体の木材
- ウ 多摩産材
- エ 森林認証材

渋谷区・大館市防災協定締結

平成13年1月24日



秋田スギ供給実績

- ・ 2Fフローリング約227m²
- ・ 7F床暖房用複合フローリング約56m²

秋田スギ調達に関する経費について
森林環境譲与税を充当予定（渋谷区）

海外への輸出～秋田スギ桶樽～

製材・桶樽製造

「沓澤製材所（大館市）」

×

発酵食品販売

「Koji and co（オーストラリア）」

輸出の経緯

- ・ 神奈川県出身で元々、桶樽製品の顧客
- ・ オーストラリア移住後、こうじ造りに取り組み、発酵容器として着目
- ・ 同国では廃棄物を減らす「Zero Waste」という概念が流行

伝統工芸品の適切な取扱（方法）で長く使用可能な秋田スギ桶樽が注目を集める

「秋田スギ特有の香りがすごく、見た目も美しい」と好評を得ており、また、秋田スギで発酵されるこうじやみそは“格別”との評価も得ています！



「Koji and co」 飯田 冴子 氏
(オーストラリア・メルボルン)